

## 8 社会教育系施設

社会教育系施設は、9施設となっており、総延床面積は3,435.00㎡です。

茶園原遺跡倉庫が旧耐震基準に基づく建物となっていますが、現在未利用で、耐震診断も実施していません。

### (1) 施設一覧

施設名	延床面積 (㎡)	竣工年度	構造
東原庫舎	844	1991	W造
同和教育集会所	146	1985	RC造
鳥居原教育集会所	146	1976	W造
聖廟	332	1984~1995	CB造・W造
聖廟展示館	100	1984	RC造
文化財発掘事務所	201	1999	LS造
茶園原遺跡倉庫	525	1977・1979	S造・CB造・W造
くど造り民家森家・川打家住宅	184	1998・2000	W造
郷土資料館・歴史民俗資料館・先覚者資料館	957	1981・1984	RC造・CB造

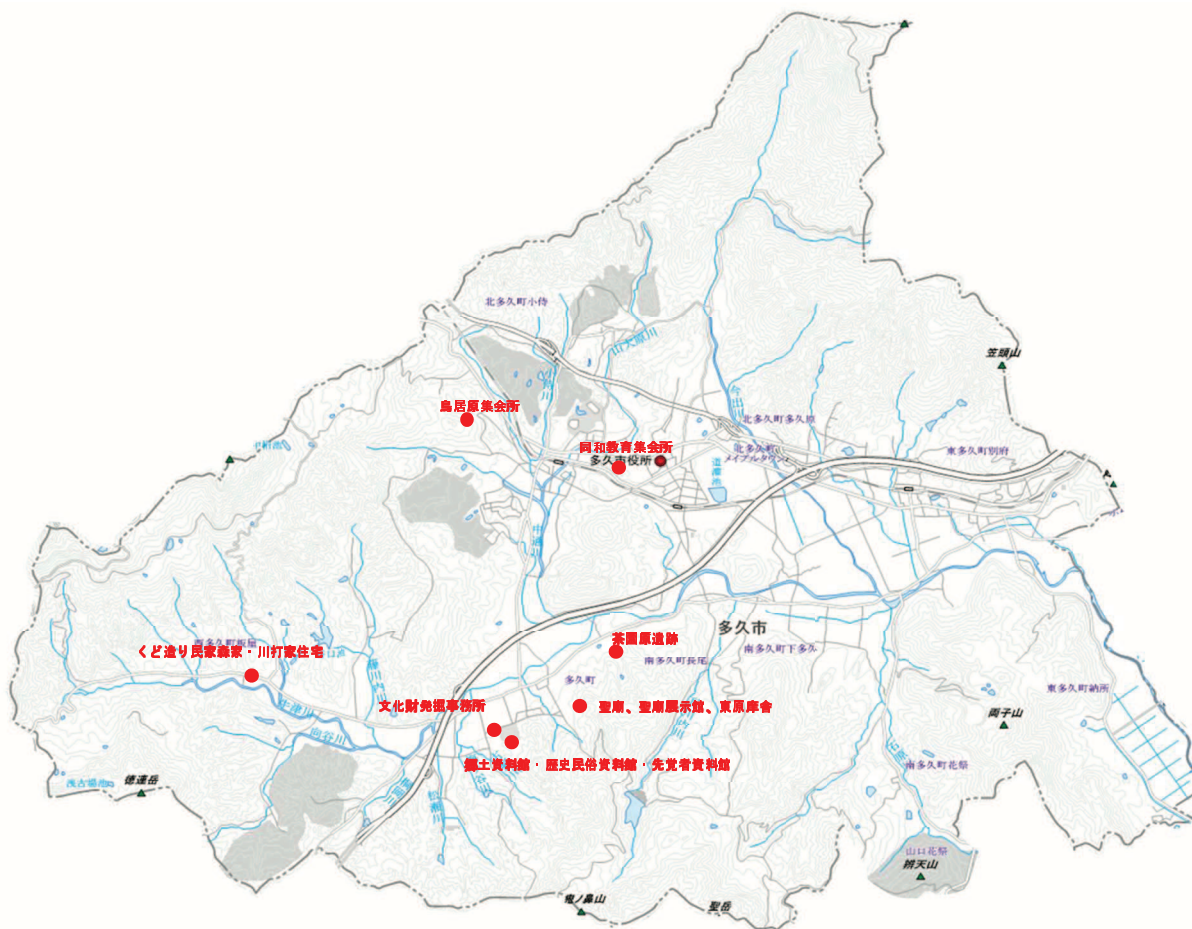


聖廟



郷土資料館

## (2) 施設の配置状況



## (3) 今後の基本的な方針

社会教育系施設は、当市の文化遺産に関連する施設が多くなっています。学校教育や地域づくり、観光分野において地域資源の積極的な活用やふるさと文化の創造、多久学の推進を進めていくためにも重要な施設となっています。

これらの施設は、茶園原遺跡の倉庫が旧耐震基準に基づく建物である以外はいずれも新耐震基準に基づく建物となっていますが、老朽化に伴う不具合等が生じることが予想されますので、定期的な点検・調査、計画的な修繕、改修を実施し、施設の長寿命化を図っていきます。